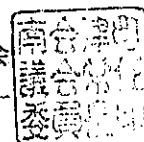




29 議委第72号  
平成29年11月30日

南会津町議会  
議長 五十嵐 司 様

南会津町議会広報委員会  
委員長 森 秀一



### 委員会調査（行政視察）報告書

本委員会所管事務調査事件について、調査の結果を別紙のとおり、会議規則第77条の規定により報告します。

## 議会広報委員会行政視察報告書

### 1. 調査事件 議会広報紙の作成に関する調査

2. 調査の経過
- 1) 研修日時 平成 29 年 9 月 29 日 (金) 13:00~15:00
  - 2) 視察先 埼玉県小川町
  - 3) 参加者 委 員: 森 秀一・丸山陽子・貝田美郎  
渡部訓正・室井英雄・室井嘉吉  
事務局: 渡部浩一

### 3. 調査の結果又は概要 (意見)

#### 【埼玉県小川町】

#### ○ 対応者

|      |            |       |             |
|------|------------|-------|-------------|
| 大戸久一 | 小川町議会副議長   | 笠原規弘  | 議会広報発行特別委員長 |
| 田中照子 | 広報発行特別副委員長 | 高橋さゆり | 広報発行特別委員    |
| 島崎隆夫 | 広報発行特別委員   | 高瀬 勉  | 広報発行特別委員    |
| 新井 章 | 議会事務局長     | 大塚将史  | 議会事務局主任     |

#### ○ 町村議会広報コンクール受賞歴

平成 28 年度 (第 31 回) 奨励賞 (編集・デザイン)

#### ○ 小川町の概要

昭和 30 年に 1 町 4 村が合併した町で、外秩父の関東山地と関東平野の接点に位置しており、山地・丘陵・台地・低地と多様な地形を見ることができます。

平成 26 年には、「細川紙の手漉き和紙技術」がユネスコ無形文化遺産に登録され「和紙のふるさと」として、伝統を誇る小川和紙の町です。

町の総面積は 60.36km<sup>2</sup>、人口は 30,799 人 (12,998 世帯) で、平成 28 年度の当初予算は、88 億 6,000 万円となっています。

#### (1) 広報発行の状況

- ① 名 称 おがわぎかい
- ② 創 刊 平成 8 年 11 月 15 日 (平成 8 年 9 月定例会から)
- ③ 発行回数 定例会ごと年 4 回
- ④ 発行部数 12,200 部 (町内全戸、事業所、学校、市町村議会、県議会)
- ⑤ 発行経費 3,534 千円 (単価契約 1 ページ 4 円 19 銭)
- ⑥ 発行時期 定例会の翌々月 1 日発行
- ⑦ 印刷規格 A4 版 表・裏表紙カラー、中身 2 色刷り  
縦 4 段×29 行×14 文字 (最大)
- ⑧ ページ数 16 ページ (登壇者数で増減がある場合は年間で調整)

## (2) 議会広報発行特別委員会の構成

委員は6名で、総務、経済建設、厚生文教の3常任委員会から選出。(任期は2年)

## (3) 議会広報創刊までの経過

議会の活動状況は、行政広報紙でお知らせしていたが、限られた紙面のため、議決事項のみで一般質問は掲載されていませんでした。

このことから、町民や議会内部から広報誌発行の要望があり、先進自治体の視察を行うなど、議会報の必要性や役割などをまとめて定例会に報告し、平成8年第2回定例会において議決され、議会広報発行特別委員会が設置された。

## (4) 編集の方針

- ① 「町民の笑顔と一生懸命な姿」をテーマに、まず手に取ってもらえるために写真を表紙とした。

また、2、3ページの見開きを最重要ポイントとして力を入れている。

- ② 住民目線でわかりやすい表現を心がける。

行政用語を極力避け、わかりにくい文言には、欄外に解説を入れる。

- ③ 一般質問は、議員3人で2ページを基本に余白も考慮し、質問の関連写真を1枚挿入、読みやすさに配慮している。

- ④ 「わたしのひとこと」で、町民に参加してもらうコーナーを設けている。

また、議員が町民の中に入り取材する「議員の聞く×つなぐ」のコーナーではアンケートを実施し、議会報に興味を持ってもらえる環境づくりをしている。

- ⑤ 協議は全員で行い、研修などで良いと思われることは積極的に取り入れていく。

## (5) 編集の基本方針・体制

平成28年3月定例会から、次の6点にこだわって「大胆かつ大幅な紙面のリニューアル」が行なわれた。

- ① 読みやすい文字・・・行間広めで読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用
- ② やさしい表現・・・難しい言葉はわかりやすく、専門用語には解説を付ける
- ③ 見やすい誌面・・・大きめの見出し文字、適度な余白などで見やすいレイアウト
- ④ 親しみあるデザイン・20代・30代の方にも手にとってもらえるデザインをめざす
- ⑤ 皆さんの声を大事に・町民の皆さんにご登場いただく場面を増やしていきます。
- ⑥ 色への配慮・・・多様な色覚を持つ方々にとって少しでも読みやすくなるよう、色の使い方にも配慮

## (6). 編集及び原稿分担

- ① 表紙写真・・・担当全員
- ② 特集・・・担当委員
- ③ 一般会計決算質疑・・・全員で所管課を担当、1300字程度、写真1枚

- ④ 特別会計決算質疑・・・各所管、700 字程度、写真 1 枚
- ⑤ 補正予算質疑・・・担当委員、400 字程度、写真 1 枚
- ⑥ 賛否が分かれた議案・・・事務局
- ⑦ 一般質問・・・質問者、480 字程度、写真 1 枚
- ⑧ 私のひとこと・・・担当委員、300～340 字程度、写真（正面、斜め右、斜め左）
- ⑨ 編集後記・・・委員全員、45～50 字、似顔絵（スタンプ風に作成）

#### （7）発行までの手順

- （1）第 1 回委員会・・・定例会 1 週間前
  - ・ 役割分担・編集日程・ページ割り・担当者決定
- （2）原稿の作成・・・定例会初日
  - ・ 一般質問の原稿依頼・・・質問終了後から 1 週間後
  - ・ 常任委員会報告書の原稿依頼・・・定例会閉会から 1 週間後
- （3）編集会議・・・定例会終了 1 週間後
  - ・ 2、3 頁見開きレイアウトを検討
- （4）第 2 回委員会・・・定例会終了 2 週間後
  - ・ 校正
- （4）第 3 回委員会・・・定例会終了 3 週間後
  - ・ 最終校正
- （6）出稿（印刷発注） 委員長、副委員長最終確認後

#### 4. 所見

議会広報の編集に当たっては、議会事務局を頼らず広報委員で編集しているとのことでしたが、印刷業務を委託している会議録センターに編集も委託しておりました。

会議録センター職員が、第 1 回の編集委員会から同席し、アドバイスをを行うとともに、協議の内容をレイアウトに作成して、委員会で検討するという内容でした。

このことから、広報委員は原稿と写真を準備することが業務であり、それぞれの委員が分担して行うことになります。

中でも、町民の声「私の一言」は、70 ある行政区の均衡を図るため気を使っているとのことでしたが、断わられながらもお願いしている実情がありました。

議案審議については、質問件数が多いため同一内容を集約して掲載していることから、質問者の氏名は載せないということでした。氏名の削除は参考になると思いました。

また、一般質問の写真は質問者本人が準備しているということでしたが、本町議会では事務局職員が、現地へ出向し撮影しているのが実情です。これについても、質問者が一番精通していることであり、原稿と合わせて写真も準備すべきと感じました。